

開催日時	平成 27 年 10 月 29 日（木） 18：00～19：40
開催場所	阿寒町公民館
参加人数	13 人
出席議員	<p>金安潤子 議員（議会広報特別委員長：司会） * 議長代理</p> <p>鶴間秀典 議員（議会運営委員、総務文教常任委員）</p> <p>宮田 団 議員（経済建設常任委員長）</p> <p>佐藤勝秋 議員（民生福祉常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）</p> <p>村上和繁 議員（都心部市街地整備特別委員）</p> <p>岡田 遼 議員（議会広報特別委員）</p>
主な質疑 応答の概 要	<p>問：水道施設の更新による負担の観点から、未納者に対する料金回収についてどのように考え、水道料金の改定に取り組むのか。</p> <p>宮田：水道料金の値上げを議論するにあたり、公平に負担してもらおうという視点でしっかり議論していきたい。</p> <p>鶴間：納付相談に応じてもらうため、水道を止めることもある。それでも連絡がない場合は、居所不明や空き家だと聞いている。</p> <p>佐藤：水道を止めるのは最終手段。そこに至るまで、未納にならないよう督促や臨戸訪問等の対応をしている。また、さまざまな事情に配慮しながら、分割納付の相談等に応じている。愛国浄水場等の整備により、料金改定の議論を今後進めていくことになる。</p> <p>要望：自分から水道料金が払えないと言えない人が多い。分割納付など市民に寄り添った対応をお願いしたい。</p>
	<p>問：給食センターや保育園を民間委託とする可能性があると感じたが、なぜこの2つが対象になっているのか。</p> <p>鶴間：財政健全化を図るため、民間でやれることは民間に業務をお願いしており、従事する現業職員の待遇等を勘案して進めている。</p>
	<p>問：町内会が増えていない点について聞きたい。</p>

	<p>佐藤：市連町と市で協定を締結し加入率促進に向けて取り組んでいる。特に若い世代が町内会加入のメリットなどを理解していないので、重要性を訴えていきたい。</p> <p>問：合併後と合併前での町内会加入率の変化について聞きたい。また、道路整備について、もっと吟味して対応してほしい。</p> <p>佐藤：旧釧路市内でも東部の加入率は高いが中部から西部に行くにつれて加入率が下がっている。合併後も加入率は横ばいと捉えている。</p> <p>鶴間：道路整備の予算はしっかり見定めて提言しているので理解してもらいたい。</p>
	<p>問：阿寒・音別の診療所における医師の確保はそれぞれで対応するとしているが、合併時に阿寒病院を分院化することを確認したのでしっかり対応するよう働きかけてほしい。分院化により医師の人件費による赤字解消にもつながると考える。</p> <p>佐藤：市立病院から医師を派遣するには、医大の合意が必要であるため、分院化が進んでいないと認識している。当面は阿寒地区の医療体制の維持に重点をおいて進める。</p>
	<p>問：合併して10年で人口が20%減っている。創生総合戦略の人口ビジョンを基に次の総合計画が策定されるのか。総合戦略の新規事業も総合計画に位置づけられるのか。</p> <p>鶴間：現在、同戦略の骨子しか示されていないが、人口ビジョンでは2040年に10万6千人という人口予測がでており、上方修正した第2第3の案を立ててそれをめざした施策を進めていくことにしている。</p> <p>佐藤：11月中旬に委員会を開催して審査をする予定である。</p> <p>鶴間：総合計画の今後の策定については検討中である。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：水道料金が上がらないよう最大限の努力をお願いします。</p> <p>宮田：施設の更新などの設備投資による水道料金見直しの協議を今後していくが、しっかり時間をかけて議論していく。</p>

	<p>問：戦争法が強硬採決されたと思うが、議会からの報告がない。</p> <p>鶴間：9月定例会で関連する陳情が2件提出されたが不採択となった。</p>
	<p>要望：釧路地区と音別地区のイベントには助成金があるが、阿寒地区のイベントについては、助成金がないので公平な対応をお願いする。</p>
	<p>要望：議員の活動が見えない。報告会の頻度を増やしてほしい。</p>
	<p>要望：交通量があまりないのに町道を整備しているところがある。議員もよく調べて対応してほしい。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：阿寒町には児童館や児童センターがなく放課後児童センターだけである。放課後児童クラブや子ども交流広場を任意の児童・園児に開放してほしい。</p> <p>佐藤：対象となる子どもやニーズ、需要はどのくらいあるのか。</p> <p>問：具体の人数は示せないが、阿寒湖に交流館という園児対象の施設があり相当数利用されているので、阿寒本町地区も相当数需要があると思っている。</p> <p>佐藤：需要も含めて、どのような対応ができるのか阿寒町行政センターへ確認する。</p>
	<p>問：阿寒町のプールの利用期間は6月から9月までであり、時間も制限されているので利用しづらい。</p> <p>鶴間：維持管理の面を考慮して運営しているが、ご意見についてはスポーツ課へ伝えたい。</p> <p>問：釧路地区のプールが減り、子どものプール授業が年1回となった。阿寒町のプールを釧路地区の幼稚園が利用しているとも聞いているため、阿寒町のプールの改修と増設をしてほしい。</p> <p>鶴間：西部地区の学校から阿寒町のプール利用については、バス</p>

	<p>がなく移動が困難であるが、来年度から対応できないか担当課へ検討をお願いしたい。</p>
	<p>問：阿寒町行政センターを健康増進のためのサークルにも使用できるよう開放できないか。 鶴間：可能性はあるかもしれないので、行政センターに確認したい。</p>
	<p>要望：阿寒町公民館にもエレベーターを設置してほしい。</p>
	<p>問：地域によって道路整備に差があるのはどうしてか。 村上：道路整備は予算の関係でニーズに応えられない部分がある。具体の箇所を教えてもらえれば行政に伝えたい。</p>